

DXによる社会変化に対応する 薬剤師育成プログラムの開講

学校法人 岩手医科大学

株式会社 アクシス

paiza 株式会社

特定非営利活動法人エルピーアイジャパン

開講の背景

2015年に厚生労働省が策定した「患者のための薬局ビジョン」により、2025年までにすべての薬局がかかりつけ薬局としての機能を持つことを目指すことが示され、重複投薬や飲み合わせなどの処方内容チェック、医師への疑義紹介・処方提案、丁寧な服薬指導、在宅対応を通じた継続的な服薬状況・副作用等のモニタリング、それらを踏まえた医師への処方提案、残薬解消など、患者が医薬分業のメリットを実感できる患者本位のかかりつけ薬局への再編が進み、現在は薬剤師の役割が対物業務から対人業務へとシフトしつつあります。そして、医療におけるDX、ICT化に向けて2021年10月には、レセプトや特定健診情報等のマイナポータル経由での閲覧、2023年1月には電子処方箋システムによる処方・調剤情報の閲覧が開始され、2022年6月には、政府による医療DX令和ビジョン2030が立案され、全国医療情報プラットフォームと個人の健康、医療および介護に関する履歴を一元化したパーソナルヘルスレコード(PHR)の利活用による、病気の予防、健康の維持、最先端の医療の提供、QOLの向上、医療資源の効率化および医療費の削減が期待されています。このような、医療におけるDX、ICT化を支えるために、専門的な医療資格を有するDX人材育成の重要性が高まっています。

開講の意図

2022年3月に開催された厚生労働省薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワーキンググループでの会議資料「薬局薬剤師 DX 推進について」では、薬剤師が患者から収集したフォローアップ情報およびパーソナルヘルスレコードを収集、分析して有効活用し、個人に適したヘルスケアサービスや受診勧奨を地域の薬剤師が中心となり担っていくことが示されるとともに、薬剤師がどのような知識や技能を身につけていくべきかということが、論点として挙げられています。本学は、デジタル技術に精通し、ICTの活用とデータ分析による、患者中心の対人業務、プライマリーケア、専門医療、公衆衛生およびデジタルヘルスを通じて社会に貢献する「DX 薬剤師」を育成するために医療系大学の先駆けとして、学部科目「DX 入門」、大学院科目「生命科学計測制御特論」を6月23日より開講します。

第一回講義では、薬局DXの第一人者である株式会社アクシス新上幸二取締役による薬剤師の将来像、医療DXの現状、Amazon 薬局など海外の動向についての講演を予定しています。

株式会社 アクシス <https://mediaxis.jp/>

取締役 新上幸二(しんじょうこうじ)氏

医療業界は急速にデジタルトランスフォーメーション(DX)が進行しており、薬剤師に求められる役割が変化しています。株式会社アクシスでの製品開発やマーケティング・販売活動を通じて得た知見を学生の皆さんにお伝えいたします。岩手医科大学薬学部と株式会社アクシスが連携することで、薬学教育の質の向上や、医療DXに対応できる人材の育成に貢献したく存じます。



【プロフィール】

東京大学医学部健康科学・看護学科卒業後、会計系コンサルティングファーム入社。

以後、スタートアップ企業、インターネット関連企業の企業役員を歴任。

2021年6月、アクシスルートホールディングス株式会社入社。

2022年5月より現職。各部門の管掌および新規事業に従事。

2022年11月 東洋経済オンラインに寄稿

アマゾン薬局上陸、”街の薬剤師は不要”になるか

日本で処方薬のネット販売への参入を検討

<https://toyokeizai.net/articles/-/634496>

2023年1月 幻冬舎ゴールドオンラインに寄稿

「アマゾン薬局」は救世主か、破壊者か…

日本における「薬局業界」の今後

<https://gentosha-go.com/articles/-/48184>

他の協力機関

paiza 株式会社

DXに関わるオンラインプログラミング講座の無料提供

<https://paiza.jp/works>

特定非営利活動法人エルピーアイジャパン (LPI-Japan)

本学のアカデミックパートナーの加入、Linux 教材、他機関との連携協力

<https://lpi.or.jp>



学部科目 「DX(デジタルトランスフォーメーション)入門」全8回 科目責任者 野中孝昌

大学院科目 「生命科学計測制御特論」

全8回 科目責任者 阪本泰光

問い合わせ先

岩手医科大学薬学部 薬科学講座 構造生物薬学分野 阪本泰光

028-3694 矢巾キャンパス岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1

電話番号 019-651-5110 内線5284 E-mail sakamoto@stbio.org